

基本情報

社名	鈴壺毛織株式会社
設立	昭和28年4月1日
所在地	〒494-0012 愛知県一宮市明地字東下城84番地1 MAPを見る
電話番号	0586-69-4411
資本金	25,000千円
事業内容	婦人服地製造販売
役員	代表取締役会長 鈴木 貞一 代表取締役社長 藤澤 亨
従業員数	30人
取引金融機関	大垣共立銀行 十六銀行 みずほ銀行
取引先	タキヒヨー株式会社 瀧定名古屋株式会社 スタイレム株式会社 三井物産株式会社 丸紅株式会社 伊藤忠商事株式会社 三菱商事株式会社

子会社

子会社	株式会社 SKソリューション 〒497-0038 愛知県海部郡蟹江町桜一丁目175 SOSビル 4B TEL: 0567-55-7801 http://www.sk-solution.jp MAPを見る
	株式会社 ドーノ 〒612-8073 京都府京都市伏見区下板橋町639-9 TEL: 06-6920-0088
	鈴壺紡織品貿易（上海）有限公司 〒200336 上海延安西路2299号 世貿商城9A11 TEL: 021-6236-6011



会社概要

経営方針

代表挨拶

組織体制

沿革

会社情報を印刷

経営理念

適応と公開

環境への適応

不易流行とは薫風俳諧理念の一つだが、伝統という不変である本質を忘れず、しかし変化をも取り入れる精神をいう。刻々と変わりゆく環境の中で、企業が固定化してしまえば変化に取り残されるが、一方で企業には決して変えてはならない伝統・理念があり、その両立こそが最も重要な課題であると考えている。

情報公開の推進

企業状況を外部取引先や会社の内部に公開することが企業信頼性維持の基本である。更に、企業内部での情報共有により市場動向を迅速に把握し、業務遂行における無駄を排除することが経営の効率化に貢献すると考える。

経営原則

組織化による情報伝達経路の確立

- 有機的な組織化による外部環境変化への迅速な対応力の育成
- 情報伝達速度向上による効率的な経営
- 定期的な企業情報公開制度の確立



会社概要

経営方針

代表挨拶

組織体制

沿革

会社情報を印刷

人材に対する投資が企業の持続性に資することは、改めて言うまでも無いだろう。家族的経営は日本企業の特徴でもあり、一定の緊張感の元、連帯感を高めた組織の中でその構成員の資質を高めることは、社内に知恵を蓄積することにも繋がる。相互の信頼感に知恵による他社との差別化を加えることが、長期繁栄の礎となると信じている。

革新とは、分野を限定せずに新しいものを創造することである。目まぐるしい市場環境の変化や内外の様々な企業リスクに対して、革新の努力を日々継続せねば、それらを乗り越えることは出来ない。革新(イノベーション)こそが企業存続の原動力と考えている。

当社にとっての革新とは、新素材の開発とその混織方法の研究が主なものであるが、素材開発には紡績知識が要求されるなど、従来のテキスタイル製造の知識を超える探究心が不可欠となる。

又、当社の扱う商材も、伝統のウールから、合織、綿、麻、それらの複合素材と広がりを見せている。素材研究もさることながら、そこに人の心が反映されるものでなければ商品は輝きを失ってしまう。その実現の為に、会社に働く全ての人が働きがいを感じ、夢を抱くことが出来る環境の提供が求められている。

説得力・信用力のある商品の提供こそが企業信用を高めると信じ、鈴憲毛織の伝統でもある品質へのこだわりを海外生産品についても追求し続けたい。

会社方針を社員全員が共有し、共通の目的に向け邁進することだけが企業力を高める道と信じ、価値ある会社としての認知度を、取引先との関係はもちろん、地域や社会との関係においても高めて行きたいと考えている。



会社情報を印刷



会社概要

経営方針

代表挨拶

組織体制

沿革

会社情報を印刷

昭和21年	鈴木憲一氏が織物仲介業として個人創業
昭和24年	合名会社設立
昭和28年4月	資本金 3,480 万円で現社設立
昭和37年4月	傍系会社羽島繊維(株)を吸収合併
昭和48年	鈴木貞一氏が代表取締役役に就任
昭和61年	新社屋完成、尾西市明地に移転
平成21年4月	中国江蘇省昆山市に現地法人「鈴木紡織品(昆山)有限公司」を設立
平成22年4月	本社事務所を現在地に移転
平成23年3月	コンサルティング会社「株式会社SKソリューション」を設立
平成26年4月	「鈴木紡織品(昆山)有限公司」を閉鎖
平成26年4月	中国上海市に「鈴木紡織品貿易有限公司」を設立

